



平成 30 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 セーラー万年筆株式会社
代表者名 代表取締役社長 比佐 泰
(コード番号 7992 東証 第二部)
問合せ先 取締役管理部長 米澤 章正
(TEL 03-3846-2651)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 2 月 14 日に公表した平成 30 年 12 月期通期業績予想を修正いたします。

記

平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,850	百万円 125	百万円 125	百万円 95	円 銭 7.20
今回修正予想(B)	5,363	16	1	10	0.72
増減額(B-A)	△487	△109	△124	△85	—
増減率(%)	△8.3	△87.2	△99.2	△89.5	—
(ご参考)前期実績 (平成 29 年 12 月期)	5,694	16	16	99	7.98

●業績予想の修正理由

当第 3 四半期連結累計期間の業績を踏まえ、平成 30 年 12 月期通期業績予想を修正いたします。

文具事業において、今期は好調な万年筆の売上を前提に増収の見込みとしておりましたが、平成 30 年 7 月豪雨により当社天応工場(広島県呉市)が浸水し、3 週間の稼働停止となり、稼働再開後も従業員自宅の被災や交通網遮断等により従業員の出勤状況に影響が出るなど工場の稼働率が低下したため、得意先に一部商品提供ができない状況となりました。また、仕入商品である輸入筆記具の売上が厳しく、文具業界の現況も厳しいことから、業績が計画を下回ることが予測されます。

ロボット機器事業につきましてはほぼ計画通りの業績が見込まれ、文具事業でも新製品の投入効果を見込んでおりますが、文具事業の業績状況を勘案し、前回売上予想並びに営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の予想額を修正いたします。

以 上